



Japan Venture Capital Association

日本ベンチャーキャピタル協会  
ニュースレター  
No.32

2013年6月1日発行

政策提言

JVCAでは、ベンチャー企業の育成・支援のための様々な政策提言を、内閣府による規制改革会議や経団連における座談会への出席、メディアによる取材、その他様々なあらゆる機会を捉えて行っております。

そうした活動の積み重ねが少しずつ形となって表れてきました。

### 1. 金融庁によるベンチャー企業育成・支援のための規制改革案

政府による規制緩和の動きが出てきています。

4月11日（木）当協会の安達会長も出席した内閣府による規制改革会議 創業等ワーキング・グループにおいて、金融庁よりベンチャー企業の育成その他の成長支援のための施策について今後の方向性が示されました。

- (1) 新興・成長企業へのリスクマネー供給策  
クラウド・ファンディング、グリーン・シート制度の見直し
- (2) 新規上場（IPO）の推進策  
内部統制報告書に係る事務負担や、有価証券届出書において提供する財務諸表の年数の限定、新興市場における株主数基準の見直し
- (3) 上場企業の資金調達の円滑化  
資金調達に係る期間の短縮、届出前勧誘に係る整理
- (4) その他  
大量保有報告制度の見直し、虚偽記載等に係る賠償責任

詳細は、内閣府のウェブサイト（内閣府ホーム＞審議会・座談会等＞規制改革＞会議情報＞第2回創業等ワーキング・グループをご参照ください。

<http://www8.cao.go.jp/kisei-kaikaku/kaigi/meeting/2013/wg/sogyo/130411/item2.pdf>

法令等の改正も必要であることから、具体的な施行まではまだ少し時間がかかりますが、今後ベンチャー企業の資金調達や上場を取り巻く環境整備に関するこうした政府による動きは我々に取って間違いなく追い風になるものと思われまます。

### 2. 三団体緊急提言

当協会は、日本ニュービジネス協議会連合会（JNB）、日本ベンチャー学会（JASVE）とともに「三団体緊急提言」を作成致しました。「21世紀型の新たな成長戦略に向けて 高付加価値ベンチャー企業の簇業（そうぎょう）」と題して三団体それぞれからの提言を1冊にまとめたもので、中でも当協会は特に「成長・活力ファイナンス導入のための規制改革と公的関与の拡大を」というテーマで、具体的には(1)証券市場活性化のための日本版Jobs法の導入による証券市場の見直し、(2)投資ファンド多様化のための公的関与の拡大と日本版エリサ法の導入、(3)成熟社会の個人資金を集めるエンジェル税制、法人版エンジェル、さらに「日本創生エンジェルファンド」の新設・改革、などについて提言を行っております。

この提言書は、近日冊子化して各政府関連団体やメディアなどに配布するとともに当協会のHPにも掲載する予定です。

当協会は今後もベンチャー企業、中小・中堅企業やVC業界の発展に資する改革の提言を継続して行っていきます。ご意見・ご要望等ありましたら当協会理事、事務局まで是非お寄せ下さい。



※経団連 座談会の模様（一番左が安達会長）

## 官民ラウンドテーブル

5月13日（月）に金融庁にて開催されました官民ラウンドテーブル「中小企業金融の向上」作業部会において、金融機関における目利き能力や投資感覚の向上のための方策の一例として、当協会のベンチャーキャピタリスト研修の受講が有効との意見が挙げられました。

官民ラウンドテーブルは、我が国金融業の中長期的な在り方について、金融業界と金融当局が同じ目線に立って課題と目標を設定し、その達成に向けて共働していく持続的な対話の場として設置され、さらに官民双方の実務家が自由闊達な議論を深めて行く場として、アドホックな作業部会が設けられています。

上記の「中小企業金融向上」作業部会は、金融機関によるリスクマネー供給力の強化等を通じた創業・新規事業支援の促進に向けて官民が取り組むべき事項について議論されています。

議論の内容については、金融庁のウェブサイトにてご覧になれます。

<http://www.fsa.go.jp/singi/kan-min/kaisai/20130513/03.pdf>



## 2012年度 トップ懇談会開催

2012年度トップ懇談会が2013年2月7日（火）を皮切りにVC会員を対象とした懇談会を3回、賛助会員を対象とした懇談会を2回と計5回開催致しました。

出席いただいた会員は計34名、JVCA理事会メンバーからは安達会長を始め延べ15名の理事が出席しました。

安達会長（2/14は尾崎副会長）よりJVCAの2013年活動方針、会員各位への要望事項などを説明し、事務局よりJVCA活動実績トピックスの報告、各委員会活動状況についての報告をさせていただきました。



### <JVCA2013年活動方針>

#### ■規制・制度改革

日本版JOBS法、法人版エンジェル税制、日本版ERISA法

#### ■魅力あるJVCAづくり

VC会員の充実、情報発信力、ベンチャー起業家との連携

#### ■グローバル推進

アジアVC&PEカOUNシル、GVCC（Global VC Congress）

懇談会の大きな目的である意見交換の場では、出席者から多くの貴重なご意見を頂戴しました。

- ・JVCAのバリューアップを目指すべき
- ・アジアVC&PEカOUNシルへの継続的、積極的協力推進
- ・CVCとの連携の重要性、会員としての取り込み重要
- ・キャピタリスト研修テキスト出版を提案 等々。

紙面の関係で全てをご紹介出来かねますが、今後、皆様方のご意見を参考とさせていただきJVCA活動を進めてまいります。

今後とも、引き続きご協力を賜りますようお願い申し上げます。



## JVCA後援イベントのお知らせ

今後開催予定のJVCA後援イベントは以下のとおりです。

- ・6/11（火） The 12th HKVCA China Private Equity Summit（香港）
- ・6/12（水） 新事業創出支援シンポジウム & Connect!～Jump Start NIPPON～
- ・6/27（木） AVCJ Private Equity & Venture Forum - Japan 2013



## パネルディスカッション 「IPO以外のExit」

4月11日（木）、今回はM&A、セカンダリー、メザニン・ファイナンスの専門家をお呼びし、ベンチャー企業に関するそれぞれの手法のマーケットの直近状況、売却価格を上げる為にVCとして取るべき戦略、Exitのターゲットとした場合VCとしてどんな準備をすべきなのか？をテーマに現場の臨場感あふれるディスカッションを行いました。その後場所を移動し交流会を開催し活発な名刺交換を行いました。

### <パネリスト>

- ・アント・キャピタル・パートナーズ株式会社  
セカンダリー投資グループ グループリーダー兼  
マネージングパートナー 佐村礼二郎氏
- ・GCAサヴィアン株式会社  
エグゼクティブディレクター 高田寿子氏
- ・株式会社ストライク  
代表取締役 荒井邦彦氏
- ・株式会社メザニン  
プリンシパル 長田貴男氏

### <モデレータ>

- ・アントレピア株式会社  
代表取締役社長 JVCA理事  
安永 謙氏



## キャピタリスト研修のご案内

2013年度JVCAベンチャーキャピタリスト育成事業研修講座を本年も開催いたします。

	日付	テーマ
第1回	6月13日(木) 9:00~12:00	「イノベーションとベンチャーファイナンス」 パネルディスカッション形式含む
第2回	6月13日(木) 14:00~17:30	「投資戦略/デューデリジェンス概論」
第3回	6月14日(金) 9:00~13:00	「デューデリジェンス」 (テクノロジー系・サービス系)
第4回	6月14日(金) 14:00~17:00	「付加価値サービス」
第5回	6月15日(土) 9:00~12:30	「ベンチャー企業の価値評価手法」
第6回	6月15日(土) 13:30~17:30	「ディールストラクチャー」
第7回	6月16日(日) 9:00~12:00	「投資回収 Exit」

## 勉強会 「ベンチャービジネスに関する年次報告」 「政府における最近のベンチャー政策について」

5月22日（水）、第一部はベンチャーエンタープライズセンター（VEC）総務企画局長黒田様よりVECにてとりまとめられた「ベンチャービジネスに関する年次報告」を元に最新の投資動向や今後の課題についてのご説明を頂き、続いて第二部は経産省新規産業室石井様より政府における最近のベンチャー政策についてのお話を伺いました。メディア関係からもご参加いただき活発な意見が出されました。  
※ご興味がある方は資料を送付させていただきます。



## Asia VC&PE Council 2013

5月23日、韓国済州島にて「Asia VC&PE Council (AVCPEC) and Network Forum 2013」が開催されました。AVCPECは、アジア各国のVC、PE協会が集まり、各国におけるVC、PEマーケットにおける状況や動向、課題などを共有し、アジアにおける起業促進、及び起業促進のための環境整備、そしてVC、PE業界の発展のために協力して活動していこうという主旨のもと発足しました。今回は、ホスト国の韓国に加え、香港、台湾、シンガポール、中国、そして日本のVC、PE協会が集まりました。また、同時並行して開催された韓国のVCが一堂に会したイベント「Venture Capital CEO Summit」にAVCPECメンバーも参加し、パネルディスカッションが行われました。当協会からも副会長の尾崎 一法氏（アント・キャピタル・パートナーズ(株)代表取締役社長）が参加し「Asia cross border deal activation plan」をテーマに熱い議論が交わされました。



## JVCAからのお知らせ

### 1. 新規会員のご紹介

4月よりVC会員2社・賛助会員2社・個人会員2社のご入会がありましたのでご紹介を致します

◆ (VC会員) インキュベイトファンド株式会社

ネット業界特化、会社の創業期への投資に特化した独立系の投資ファンド。投資意志決定者自身が、きちんと事業の立ち上げにコミットして起業家と共に事業を創っていくところが特徴。年に2回、業界の有力メンバーを招き、インキュベイトキャンプという若手起業家向けの新規事業創造合宿を実施している。今後3〜4年で100社へ投資を行う予定。事業会社及び大手VCファンドとの連携によって、投資先の事業の成長を徹底支援。

◆ (VC会員) MOVIDA JAPAN 株式会社

MOVIDAJAPAN株式会社は「2030年にはシリコンバレーを越える」を合言葉に、スタートアップのお手伝い(サポート)をし、最終的には雇用を生み出せるような仕組み作りを行なっております。詳細はWEBサイトをご覧ください。http://www.movidainc.com/

◆ (賛助会員) 株式会社インテリジェンス i-common company

日本で最も多くのハンズオン対応が可能なエグゼクティブシニア人材がご登録いただいています。豊富な業界経験や知見、人脈等から、企業様の経営課題、組織人事課題、営業強化、改善、海外進出等多くのテーマに即戦力として業務委託での活用が可能です。投資事業会社様の活用事例も多く、是非VC業界を勉強させていただきたく参画いたしました。



◆ (賛助会員) 株式会社 Gerson Lehrman Group

GLGは顧客のプライマリーリサーチ(文献等の二次情報でなく現場への直接取材に主眼を置くリサーチ)を支援するプラットフォーム運営会社です。世界中のあらゆる分野の幅広い専門家プールを管理しており、顧客のリサーチ対象分野に精通した専門家を厳選しご紹介することを通じて、顧客の業界インサイトへの効率的かつ確かなアクセスを支援しています。専門家は、国内外の政策・経済関係者、ビジネスリーダー、学者まで多岐にわたり、俯瞰的な問題からニッチな課題まで対応可能であり、VC業界の皆様の様々な問題解決の一助となれるよう活動していく所存です。

### 2. JVCA定時会員総会のお知らせ

来る7月11日(木)八重洲富士屋ホテル2階(櫻の間)にて会員総会を開催致します。政策研究大学院大学教授大田弘子先生をお招きし「日本経済の成長戦略」についてお話しを伺います。詳細に関しましてはJVCAホームページをご覧ください E-mail: [jvca0711@jvca.jp](mailto:jvca0711@jvca.jp)にてお申込みをお願いいたします。

### 3. 勉強会のご案内

今後開催予定の勉強会や委員会は以下のとおりです。

- ・定例勉強会 テーマ「FATCAについて」 7/3(水) 予定
- ・定例勉強会 テーマ「特許調査関連について」 7/24(水) 予定

日本ベンチャーキャピタル協会 ニュースレター No.32

■発行日 2013年6月1日

■発行 一般社団法人 日本ベンチャーキャピタル協会

■編集 JVCA企画部/事務局

〒169-0074 東京都新宿区北新宿2-21-1  
新宿フロントタワー

TEL : 03-5937-0300 FAX : 03-5937-0301

E-mail : [jimukyoku@jvca.jp](mailto:jimukyoku@jvca.jp) URL : <http://www.jvca.jp/>

